

課題名	23 ハイカラー系スイートコーンの早出し作型の確立	分類	①
	(1) バイカラー系スイートコーンの早出し用優良品種		
試験研究年次	63~2年(完了)		
I 目的 バイカラー系スイートコーンの早出し作型に適した優良品種を選定する。			
II 試験方法			
1 供試品種 ピーターコーン、ピーター早生1号、バイカラー早生800、同820、同900 (以上サカタのタネ)、カクテル82、同86、同E-51、同E-52 (以上タキイ種苗)、マーガレット78、同83(以上パイオニア種苗) チェッカーコーン、チェッカーコーン85(以上カネコ種苗)			
2 播種期と栽培様式			
	年度	播種期	栽培方法
	63年	2月15日	ハウス及び大型トンネルでの移植栽培
		3月15日	大型及び小型トンネルでの直播栽培
	1年	2月1日	ハウス及び大型トンネルでの移植栽培
		2月15日	大型及び小型トンネルでの直播栽培
	2年	2月15日	大型トンネル栽培での直播栽培
注) ハウス: 間口5.4m、高さ3.1m。大型トンネル: 間口2.8m、高さ1.4m。 小型トンネル: 間口1.2m、高さ0.5m。			
3 試験規模 1区 5㎡ 2反復			
4 耕種概要			
(1) 栽植密度 畝幅150cm 株間25cm 2条植え			
(2) 施肥量 10a 当たり N=25kg、P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> =25kg、K <sub>2</sub> O=25kg			
III 主要成果の概要			
早出し作型の品種としては、早生性、収量性及び雌穂の先端不稔発生程度から、早生種の「カテルE-51」次いで極早生種の「ピーター早生1号」が優れる。			
1 「カテルE-51」は早生種で、収穫期が極早生種より2~6日遅いが、雌穂の先端不稔部分の長さは何れの作型でも短い。また、他品種に比べて雌穂長が長く、粒重も重いため雌穂にボリューム感があって、収量は安定して多い。			
2 「ピーター早生1号」は、「カテル82」等と共に収穫期が最も早く、2月1日播種のハウス栽培で5月末~6月上旬に収穫期に達する。播種期が2月上旬までの作型では、雌穂の先端不稔の発生が多いが、極早生種の中では収量が安定して多い。			
3 中生種の「カテル86」等の品種では主穂だけでなく、副穂の収穫も可能である。			
4 供試したバイカラー系スイートコーン品種では、子実の白色粒割合及び糖度において品種間差は認められない。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 収穫期及び先端不稔雌穂の発生比較 (1年)

播種期・栽培法	収穫最適期				先端不稔率			
	A	B	C	D	A	B	C	D
	月日	月日	月日	月日	%	%	%	%
カクテルE-51	6 6	6 12	6 15	6 26	7.2	3.4	10.3	9.5
ピーター早生1号	6 2	6 6	6 13	6 24	23.5	16.8	7.4	10.1
カクテル82	6 2	6 6	6 13	6 24	22.5	13.0	8.1	16.7
ハイカー早生800	6 2	6 6	6 13	6 24	9.7	2.4	2.5	2.5
マーカレット78	6 4	6 10	6 13	6 26	5.6	4.5	8.7	14.9
チェッカーコーン85	6 4	6 12	6 15	6 26	13.7	12.7	16.4	13.7
チェッカーコーン	6 6	6 12	6 15	6 26	10.8	7.7	8.7	15.6
マーカレット83	6 6	6 12	6 15	6 26	11.7	16.0	14.3	16.8
ピーターコーン	6 6	6 12	6 15	6 26	15.4	14.8	13.1	19.5
カクテル86	6 6	6 12	6 15	6 26	13.3	17.3	18.5	16.1

注) ① 播種期・栽培法 A:2月1日播種のハウス栽培, B:2月1日播種の大型ト初栽培, C:2月15日播種の大型ト初栽培, D:2月15日播種の小型ト初栽培  
 ② 先端不稔率:先端不稔の雌穂部長÷雌穂長×100

第2表 主な播種期・栽培方法別の収量と雌穂・子実の比較 (63・1・2年)

播種期・栽培法	収量(10a当たり)					副穂	主雌穂の長さ cm	100粒重 g	白色粒割合 %	糖度 %
	A	B	C	D	E					
	t	t	t	t	t	t				
カクテルE-51	1.68	1.94	2.12	1.83	-	0.34	19.6	44.3	24.0	14.9
ピーター早生1号	1.57	1.58	2.01	1.72	1.65	0.17	18.1	42.6	28.5	13.9
カクテル82	1.56	1.59	1.65	1.81	1.74	0.18	17.2	40.1	26.1	14.6
ハイカー早生800	1.53	1.69	1.83	1.51	1.81	0.29	17.8	43.4	25.0	14.5
マーカレット78	1.53	1.57	1.75	1.63	-	0.87	18.2	43.7	23.9	14.7
チェッカーコーン85	1.52	1.78	1.75	1.55	-	0.79	17.3	41.4	24.4	14.7
チェッカーコーン	1.52	1.57	1.78	1.59	-	0.52	17.6	42.6	23.3	14.0
マーカレット83	1.67	1.74	1.83	1.31	1.56	0.69	17.7	43.2	24.4	14.9
ピーターコーン	1.67	1.89	1.74	1.49	1.96	0.36	17.2	39.6	26.7	14.3
カクテル86	1.69	1.75	1.62	1.43	1.86	0.98	17.8	43.9	23.1	14.6

注) ① 播種期・栽培法 A:2月1日播種のハウス栽培, B:2月1日播種の大型ト初栽培, C:2月15日播種の大型ト初栽培, D:2月15日播種の小型ト初栽培, E:3月15日播種の大型ト初栽培。  
 ② 収量は主穂のみの数値で、A・Bは1年。Cは63・1・2年の平均。Dは1年。Eは63年。  
 ③ 副穂収量は、1年の2月15日播種・小型ト初栽培。④ 主雌穂の長さ、100粒重、白色粒割合は、1年の4つの播種期・栽培法での平均。⑤ 糖度は、1年の3つの播種期・栽培法での平均。

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 スイートコーンの2~3月播種の早出し作型における品種選定の資料となる。
- 2 バイカラー系は適熟期を過ぎると粒皮が硬くなり易く、日持ち性も劣るので、収穫期が集中しないように作付計画を立てる。

VI 今後の研究上の問題点

VII 資料名

63~2年度 福岡県農業総合試験場園芸研究所 野菜試験成績書